

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第49号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年8月31日 17時40分ごろ	
発生場所	沖縄県名護市 ^{つんてん} 運天港 名護市 ^{あう} 奥武島三角点から真方位273° 2,100m付近 （概位 北緯26° 38.5′ 東経128° 00.8′）	
事故等調査の経過	平成22年8月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 油送船 ^{てんりゅう} 天竜丸、749トン 船舶番号、船舶所有者等 133758、東亜運輸株式会社 乗組員等に関する情報 船長、四級海技士（航海） 死傷者等 なし 損傷 船底塗料剥離	
事故等の経過	本船は、船長ほか7人が乗り組み、ガソリン約100kl及び軽油約80klを積み、船首約2.1m、船尾約4.2mの喫水で、台風から避難するため運天港に入航し、両舷錨鎖6節半を繰り出して錨泊した。 本船は、台風の通過により風向が北北東から西風に変わり、転描するつもりで錨鎖約3節を巻き上げたところ、暴風を受けて走錨し、平成22年8月31日17時40分ごろ、 ^{やがし} 屋我地島南岸沖の浅瀬に乗り揚げた。 本船は、自力で離礁して目的地に向かった。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 西、風力 11（最大瞬間風速46.8m/s）、視程 約0.6km 海象：潮汐 上げ潮の初期 大雨警報、暴風警報、波浪警報が発表されていた。	
その他の事項	本船は、台風の接近で風が強まり、ふれ回りが大きくなって錨泊していた台船に接触すると思い、転描しようとしていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、荒天下の運天港内において錨泊中、台風の通過により風向が北北東から西風に変わった際、風力11の風を受けて走錨したため、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。 船長は、風向が変わった合間に転描できると思っていたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、荒天下の運天港内において錨泊中、台風の通過により風向が北北東から西風に変わった際、風力11の風を受けて走錨したため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	